

なるべく多くの人と接しながら、人の役に立てる仕事がしたい

下水道整備課 大西 昌治（土木技術 平成21年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

自分で設計した施設を造り、地図に残る仕事がしたい！！

そんな単純な動機で土木技術業務を民間で10年以上経験しました。そして、民間で色々経験するうちに、『もっと地元密着で地域住民とコミュニケーションを図りながら、市民が望んでいる街づくりに携わりたい』と思うようになりました。それが叶うのは市役所であり、自分の生活にも大きく影響をあたえるであろう、地元の小田原なら最適だと考え、小田原市役所を志望しました。



現在の仕事内容

私が配属された下水道整備課工務係では、小田原市内の下水道管の新設を行う部署になります。

狭隘な道路の拡幅工事や、河川の護岸が整備されるのとは違い、整備が完了したとしても、道路表面にマンホールの蓋が見えるだけの下水道管の整備は、少し見劣りするかもしれませんが、道路工事などと同様に、完成までの間、工事現場沿線の市民の皆様と、調整を図りながら、自分達で事前に測量を行い、その結果をもとに各担当が設計をして、工事現場の監理・監督業務に携わります。

仕事のやりがい

目立たない下水道の整備が道路、河川の整備と同じくらい重要であることを市民の皆様とコミュニケーションをはかりながら、整備の重要性について説明し理解していただく。その中で、市民は何を求めているかを考え、現場に反映させることが出来ると『ありがとう。お疲れさま。』の声が自然と市民の皆様から聞こえてきます。工事を無事に終わらせることも重要ですが、私は工事を行う前の市民の皆様とのコミュニケーションが非常に大切ではないかと感じております。

会話によって工事内容が充実することで、地元の皆様が生活環境の向上を実感していただき、それにより自分自身も満足感、達成感を感じることができます。

受験生の皆さんへのメッセージ

市役所は役割に応じて、いろいろな部署があり、それぞれの部署がお互いに協力しあいながら業務を行っています。土木技術に限定しても、道路、河川、水道、下水など多岐にわたるため、自分が担当した業務をいかに迅速に遂行するかは、自分だけでなく他の係員との関わり合いが非常に大切です。

職員同士の交流が多いので他職員とのコミュニケーションがとりやすく、職場環境はとて素晴らしいと思います。あとは、自分の小田原市に対する熱い気持ちを大切に、自分を信じて、採用試験に臨んでください。一緒に頑張っていきましょう。



設計通りのマンホールが納品されたかチェックします。